

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年8月12日
【四半期会計期間】	第44期第1四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
【会社名】	アズマハウス株式会社
【英訳名】	AZUMA HOUSE Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 東 行男
【本店の所在の場所】	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
【電話番号】	073-475-1018(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 真川 幸範
【最寄りの連絡場所】	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
【電話番号】	073-475-1018(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 真川 幸範
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第1四半期 連結累計期間	第44期 第1四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (千円)	3,385,619	2,805,299	13,555,723
経常利益 (千円)	344,908	189,504	1,227,497
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	229,450	153,997	810,814
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	219,625	155,091	754,107
純資産額 (千円)	14,245,079	15,118,418	15,244,525
総資産額 (千円)	29,333,205	30,751,398	31,062,679
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	57.12	38.34	201.84
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	57.02	38.28	201.48
自己資本比率 (%)	48.6	47.6	47.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国景気の下振れリスク、金融市場の変動の影響に留意する必要がある等、先行きは依然として不透明な状況にあります。また、2020年3月に世界保健機構（WHO）がパンデミック（世界的流行）との認識を示した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による感染拡大に係る経済社会への影響は、今後も留意が必要な状況となっております。

当社グループの不動産・建設事業においては、住宅ローンの低金利環境下での資金環境を背景とした物件購買意欲に支えられ、不動産事業の堅調な市場環境を維持しておりますが、新型コロナウイルス感染症による自粛の影響を受け、集客数が落ち込み、低調に推移いたしました。

不動産賃貸事業においては、2020年1月にグループ化を行った、株式会社賃貸住宅センターの賃貸仲介業及び株式会社シージェーシー管理センターの賃貸管理業が業績に寄与し売上高が増加しております。

ホテル事業については、新型コロナウイルス感染症による大きな影響を受けております。緊急事態宣言中は休業を行い、解除後には営業再開を行っておりますが、イベントの中止、テレワーク増加に伴うビジネス客の減少や未だ自粛による影響が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「より大切に、より迅速に、全てはお客様のために」をモットーに、商品の品質、性能、お客様への対応、サービス向上は無限と考え、顧客満足度No.1企業を目指し、企業価値の最大化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,805百万円(前年同期比17.1%減)、経常利益は189百万円(前年同期比45.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は153百万円(前年同期比32.9%減)となりました。

セグメント別の販売状況は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(千円)	前年同期比(%)	内容
不動産・建設事業	1,800,599	72.6	分譲土地販売、分譲住宅販売、売建分譲販売、注文建築及びリフォーム工事、不動産仲介 (土地分譲65区画、分譲住宅販売24棟、売建分譲住宅10棟、注文住宅11棟、中古住宅販売12棟)
不動産賃貸事業	700,901	124.6	不動産賃貸経営、賃貸管理及び賃貸仲介 (自社物件1,695戸、管理物件13,089戸、サービス付き高齢者賃貸住宅の運営)
土地有効活用事業	257,168	193.3	資産運用提案型賃貸住宅販売及び建売賃貸住宅販売 (賃貸住宅販売3棟、賃貸中古販売2棟)
ホテル事業	64,866	33.6	ビジネスホテル及び飲食店の運営
その他(注4)	16,335	100.1	連結子会社(興國不動産株式会社)等の事業活動
合計(注1)	2,839,870	83.9	
セグメント間取引	34,570	-	
連結財務諸表の売上高	2,805,299	82.9	

- (注) 1. セグメント間取引については含めて記載しております。  
 2. 主たる販売先は不特定多数の一般消費者であり、相手先別販売実績に対する割合が100分の10以上の販売先はありません。  
 3. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。  
 4. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等の事業活動を含んでおります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 不動産・建設事業

不動産・建設事業は、土地分譲65件、建物販売45件、中古住宅販売12件の販売を行いました。その結果、売上高は1,800百万円(前年同期比72.6%)、セグメント利益は18百万円(前年同期比11.2%)となりました。

#### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、自社物件1,695戸、管理物件13,089戸を保有し、賃貸経営、賃貸管理及び賃貸仲介を行いました。その結果、売上高は700百万円(前年同期比124.6%)、セグメント利益は264百万円(前年同期比123.1%)となりました。

#### 土地有効活用事業

土地有効活用事業は、賃貸住宅販売3件、賃貸中古販売2件の販売を行いました。その結果、売上高は257百万円(前年同期比193.3%)、セグメント利益は41百万円(前年同期比286.8%)となりました。

#### ホテル事業

ホテル事業は、3箇所のビジネスホテル、3箇所の飲食店を運営しました。その結果、売上高は64百万円(前年同期比33.6%)、セグメント損失は47百万円(前年同期はセグメント利益33百万円)となりました。

#### その他

その他事業は、連結子会社において不動産仲介及び賃貸管理を行いました。その結果、売上高は16百万円(前年同期比100.1%)、セグメント利益は1百万円(前年同期比544.1%)となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ311百万円減少し、30,751百万円となりました。

流動資産については、前連結会計年度末に比べ289百万円減少し、10,798百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少544百万円、未成工事支出金の増加240百万円及び販売用不動産の減少46百万円を反映したものであります。

固定資産については、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、19,952百万円となりました。これは主として、投資その他の資産の減少100百万円及び有形固定資産の増加91百万円を反映したものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ185百万円減少し、15,632百万円となりました。

流動負債については、前連結会計年度末に比べ108百万円減少し、5,179百万円となりました。これは主として、短期借入金の増加403百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少191百万円、未払法人税等の減少151百万円、工事未払金の増加29百万円及びその他の減少192百万円を反映したものであります。

固定負債については、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、10,453百万円となりました。これは主として、社債の減少49百万円及び長期借入金の減少27百万円を反映したものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、15,118百万円となりました。これは主として、当第1四半期連結会計期間に支払う配当金計上による繰越利益剰余金の減少281百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益153百万円を計上したためであります。自己資本比率は47.6%（前連結会計年度末は47.6%）となりました。

## (3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定について重要な変更はありません。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項」の（追加情報）をご参照ください。

## (4) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略について重要な変更はありません。

## (5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (6) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,031,700	4,031,700	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準的な株式であり、単元株式数は100株であります。
計	4,031,700	4,031,700		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	4,031,700	-	596,763	-	528,963

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,500		権利内容に何ら限定のない当社における標準的な株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,015,700	40,157	同上
単元未満株式	普通株式 1,500		同上
発行済株式総数	4,031,700		
総株主の議決権		40,157	

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) アズマハウス株式会社	和歌山県和歌山市 黒田一丁目2番17号	14,500	-	14,500	0.4
計		14,500	-	14,500	0.4

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PWC京都監査法人により四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,015,332	3,471,262
受取手形及び売掛金	18,448	14,359
販売用不動産	5,560,913	5,514,119
未成工事支出金	763,565	1,004,251
貯蔵品	12,249	12,427
その他	720,603	785,794
貸倒引当金	3,407	3,562
流動資産合計	11,087,705	10,798,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,930,633	5,909,832
土地	12,663,812	12,744,348
その他(純額)	214,753	246,452
有形固定資産合計	18,809,199	18,900,633
無形固定資産		
のれん	422,842	411,532
その他	54,726	53,065
無形固定資産合計	477,568	464,598
投資その他の資産	688,205	587,513
固定資産合計	19,974,973	19,952,745
資産合計	31,062,679	30,751,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,149	9,859
工事未払金	418,344	447,929
短期借入金	1,547,500	1,951,269
1年内償還予定の社債	99,960	99,960
1年内返済予定の長期借入金	2,021,684	1,829,802
未払法人税等	220,311	69,229
賞与引当金	65,771	63,678
その他	900,938	707,943
流動負債合計	5,288,659	5,179,672
固定負債		
社債	100,080	50,100
長期借入金	9,841,180	9,813,493
資産除去債務	74,330	74,716
繰延税金負債	21,055	20,323
その他	492,848	494,673
固定負債合計	10,529,494	10,453,307
負債合計	15,818,154	15,632,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,763	596,763
資本剰余金	528,963	528,963
利益剰余金	13,703,833	13,576,632
自己株式	19,452	19,452
株主資本合計	14,810,107	14,682,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,618	35,827
その他の包括利益累計額合計	30,618	35,827
非支配株主持分	465,036	471,339
純資産合計	15,244,525	15,118,418
負債純資産合計	31,062,679	30,751,398

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,385,619	2,805,299
売上原価	2,297,811	1,821,335
売上総利益	1,087,808	983,964
販売費及び一般管理費	733,000	786,302
営業利益	354,807	197,661
営業外収益		
受取利息	84	123
受取配当金	6,504	7,053
受取手数料	14,471	14,115
解約金収入	2,262	4,404
その他	11,950	12,942
営業外収益合計	35,272	38,638
営業外費用		
支払利息	41,909	45,341
その他	3,262	1,453
営業外費用合計	45,171	46,795
経常利益	344,908	189,504
特別利益		
投資有価証券売却益	-	42,831
事業譲渡益	-	30,095
特別利益合計	-	72,926
特別損失		
固定資産除却損	1,225	36,747
投資有価証券評価損	6,441	-
特別損失合計	7,667	36,747
税金等調整前四半期純利益	337,241	225,683
法人税、住民税及び事業税	99,463	55,009
法人税等調整額	8,328	10,372
法人税等合計	107,791	65,381
四半期純利益	229,450	160,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	6,303
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,450	153,997

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	229,450	160,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,824	5,209
その他の包括利益合計	9,824	5,209
四半期包括利益	219,625	155,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,625	148,787
非支配株主に係る四半期包括利益	-	6,303

【注記事項】

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や終息時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	96,853千円	100,513千円
のれんの償却額	3,437 "	11,309 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	321,372	80	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	281,198	70	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産・ 建設事業	不動産 賃貸事業	土地有効 活用事業	ホテル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,480,719	562,322	133,038	193,218	3,369,299	16,320	3,385,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,480,719	562,322	133,038	193,218	3,369,299	16,320	3,385,619
セグメント利益	161,330	215,016	14,341	33,361	424,049	200	424,250

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社(興國不動産)等の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,049
「その他」の区分の利益	200
全社費用(注)	79,341
四半期連結財務諸表の経常利益	344,908

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産・ 建設事業	不動産 賃貸事業	土地有効 活用事業	ホテル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,768,455	698,474	257,168	64,866	2,788,964	16,335	2,805,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,143	2,427	-	-	34,570	-	34,570
計	1,800,599	700,901	257,168	64,866	2,823,535	16,335	2,839,870
セグメント利益 又は損失( )	18,114	264,791	41,137	47,424	276,619	1,092	277,712

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社(興國不動産)等の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	276,619
「その他」の区分の利益	1,092
全社費用(注)	88,207
四半期連結財務諸表の経常利益	189,504

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	57円12銭	38円34銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	229,450	153,997
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	229,450	153,997
普通株式の期中平均株式数(株)	4,017,162	4,017,120
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	57円02銭	38円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	6,999	6,194
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月12日

アズマハウス株式会社  
取締役会御中

PwC京都監査法人

京都事務所

指定社員 公認会計士 浦上卓也  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 田口真樹  
業務執行社員

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアズマハウス株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アズマハウス株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。  
監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。  
監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 . 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。